

2017年10月16日

伊 炭素繊維・アルミ複合材を含む自動車部品製造販売会社 CPC 社への  
出資について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、このたび欧米市場における炭素繊維事業の拡大を図るため、イタリアの炭素繊維強化プラスチック（CFRP）自動車部品製造販売会社である C.P.C. SRL（本社：イタリア・モデナ市、以下「CPC 社」）へ出資することを決定しました。当社の100%子会社である Mitsubishi Chemical Carbon Fiber and Composites GmbH（本社：ドイツ・デュッセルドルフ市）が、CPC 社の創業者から同社株式の44%を取得しました。

世界の自動車市場では燃費規制や CO<sub>2</sub> 排出規制の強化を背景とした車体軽量化への関心が高まっており、軽さと高い強度を併せ持つ炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の自動車部材を本格的に採用する動きが加速しています。このような状況の中、炭素繊維事業について当社は中間基材（最終部品に加工する前の炭素繊維に樹脂を含浸させた材料）の強化を掲げ、今後成長の拡大が見込まれる自動車、風車、圧力容器の産業分野に注力します。特に最大の成長が見込まれる自動車用途では、部材の設計から生産までのバリューチェーンで最適なソリューションを提供する炭素繊維複合材料メーカーのトップポジションを構築するべく事業展開を図っております。

CPC 社は自動車部材の設計技術に加え、炭素繊維複合材料の成形技術、アルミ鋳造部品や炭素繊維複合材部品の金型を設計・製造する技術やノウハウも保有する自動車部品製造販売会社です。また、世界最大規模の複合材料専用プレス設備を保有しており、大型部材を開発・成形することが可能です。当社は、CPC 社が持つ部材設計力、成形技術力、開発提案力、欧米自動車メーカーへの商流等を活用することで、当社の SMC<sup>\*1</sup> や PCM プリプレグ<sup>\*2</sup> という炭素繊維複合材料の自動車部材への採用をさらに加速させることが可能になると考えております。今後 CPC 社への追加出資も検討していきます。

当社は三菱ケミカルホールディングスグループの中期経営計画「APTSIS 20」における 2020 年に炭素繊維・複合材料事業の売上高 1,000 億円を目標に掲げております。その達成に向け、成長著しい自動車用途をはじめとする産業分野へ積極的に事業展開してまいります。

## 【CPC 社について】

社名：C.P.C. SRL

所在地：イタリア・モデナ市

創立：1959 年

### \*1 SMC

SMCとは、CFRPの中間基材の一種で、長さ数センチメートルにカットされた炭素繊維を樹脂中に分散させたシート状の材料です。プレス成形により2~5分程度の短時間で部材に加工可能で、プリプレグと比べて、複雑な形状の部材を成形することができるという特長を持ちます。

### \*2 PCM プリプレグ

PCMプリプレグとは、CFRPの中間基材の一種で、当社独自に開発したPCM工法（プレス機で圧縮成形し、約5分のサイクルタイムで、自動車向け部材の量産を可能とする工法）で積層させてプレス成形する際に使用する、連続した炭素繊維に樹脂を含浸させたシート状の材料です。PCM工法で成形した部材は表面の平滑性が高いため、アウターはクラスA塗装が可能で外板部材としても活用できます。

以 上

### 【CPC 社本社】



### 【世界最大規模の複合材料プレス設備（5千トン／5m×3m）】



本件に関するお問合せ先  
(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室  
電話: 03-6748-7140